

ハローワーク西陣 就職支援業務報告（令和元年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

- ・当所は本所庁舎と烏丸御池庁舎（本所庁舎から交通機関で30分程度）に分かれて業務を行っていますが、業務を全所的に進めるために、双方の庁舎から担当者を出して求人充足会議や人材確保コーナーの連携会議などを設置し、統一的に業務を進める工夫を行いました。
- ・求人受理担当部門と職業紹介担当部門の責任者による企画会議を設置し、「応募前事業所見学」の実施などの新しい取組ができました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

- ・京都府との連携により、就職面接会「御池で面接会」を8回実施しました。これによる就職件数はさほど多くはありませんが、求人者の満足度を上げることができ、また、応募まで踏み切れなかった求職者も一定数参加するなど、活性化には寄与したと判断しています。
- ・本所庁舎でも上記とは別に就職面接会を6回実施しました。（7回目は新型コロナウイルス感染症の広がりを受け中止）
- ・烏丸御池庁舎において、求人票に記載されていること以上の情報を電話で聞き取り、求人票上に外部アプリで追記し、公開するとともに印刷して求職者が持ち帰られるようにしました。
- ・求職者担当者制の実施を更に推進しました。
- ・園部出張所において、「ハローワークプラザかめおか」の利用促進のため、近隣のスーパーマーケットや郵便局を訪問の上、リーフレットの配架を依頼し、結果として10箇所に配架いただけることになりました。
- ・交通の便の関係で本所庁舎の求職者が減少し、烏丸御池庁舎の求職者が増加しているため、雇用保険の受給手続（烏丸御池庁舎でのみ実施）に誤って本所庁舎に来所した求職者にも本所庁舎の利用を勧めるとともに、烏丸御池庁舎でも本所庁舎の利用を勧めるリーフレット（本所庁舎には駐輪場があることをアピール）を配布するなどして業務の平準化を図りました。

（3）今後のサービス・業務改善の取組について

- ・令和元年度に続き今年度も京都府との連携による就職面接会を実施します。
- ・求職者担当者制や当所独自の取組である「1箇月就職実現プログラム」の見直しを行い、手間のかからない、実効性のあるものに修正します。具体的には、これまで以上に職業紹介担当部門の責任者が進捗管理・支援を行う方法を予定しています。

(4) その他業務運営についての分析等

- ・新型コロナウイルス感染症の影響で、今後求職者が増加することが見込まれます。そのような状況になった際には、今まで以上に時間をかけない、実効性のある業務運営が求められるため、素早く業務の見直しを行える体制を作ることが必要となると認識しています。

2 総合評価 (※)

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	求人に対する 紹介率	求職者に対する 紹介率	正社員 求人数	正社員 就職件数	障害者の 就職件数	公的職業訓練 終了3か月後の 就職件数	人材不足分野の 就職件数
実績	8,129	9,244	3,461	38.5%	41.4%	32,660	3,193	343	533	1,700
目標	9,145	9,971	3,045	40.8%	43.4%	36,224	3,819	353	463	1,644
目標達成率	88%	92%	113%	94%	95%	90%	83%	97%	115%	103%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率